

<事務局便り>

平成17年度炉物理部会運営委員

部会長 (1年)	山根 義宏 (名古屋大学)
副部会長 (1年)	関本 博 (東京工業大学)
庶務幹事 (1年)	山本 章夫 (名古屋大学)
庶務幹事 (2年)	小原 徹 (東京工業大学)
企画委員会担当運営委員	石川 眞 (原子力機構)
編集委員会担当運営委員	中島 健 (京都大学原子炉実験所)
炉物理委員会担当運営委員 (学会炉物理委員会委員長)	岩村 公道 (原子力機構)
HP担当幹事	外池 幸太郎 (原子力機構)
HP担当幹事	須山 賢也 (原子力機構)
HP担当幹事	奥村 啓介 (原子力機構)
財務小委員会担当幹事 (1年)	山本 俊弘 (原子力機構)
財務小委員会担当幹事 (2年)	小坂 進矢 (テプコシステムズ)
編集小委員会担当幹事 (1年)	羽様 平 (原子力機構)
編集小委員会担当幹事 (2年)	吉岡 研一 (東芝)
セミナー小委員会担当幹事 (1年)	関本 博 (東京工業大学)
セミナー小委員会担当幹事 (1年)	小原 徹 (東京工業大学)
学術交流小委員会担当幹事 (1年)	松本 英樹 (三菱重工業)
学術交流小委員会担当幹事 (2年)	山本 敏久 (大阪大学)
学生・若手小委員会担当幹事 (1年)	伊藤 佳央 (中電シーティーアイ)
学生・若手小委員会担当幹事 (2年)	横山 賢治 (原子力機構)

編集小委員会からの御願い

部会報に対するご意見・ご要望などがございましたら、編集小委員会までお知らせ下さい。また、部会報の原稿として、「部会員の声(自由投稿欄): 内容不問で自由に投稿・意見を述べられる場」を常時募集しています。また、部会ニュース(ホームページに掲載)の原稿もございましたらお知らせください。

連絡先：編集小委員会(会報担当)

羽様平                    hazama.taira@jaea.go.jp

吉岡 研一                kenichi.yoshioka@toshiba.co.jp

炉物理部会員の名簿は、日本原子力学会の名簿に基づいて作成しております。学会名簿は、部会報の郵送、部会メンバーリストの発信先Eメールアドレス、部会ホームページにおける名簿検索などに使用されます。勤務先、メールアドレス等に変更がある場合には、速やかに日本原子力学会に登録情報の変更手続きをして頂くようお願いいたします。変更手続きは、以下の URL からオンラインで申請が可能です。

<http://wwwsoc.nii.ac.jp/aesj/member/henkou.html>

## 第23回炉物理部会総会の報告

1. 日 時 2005年3月30日(水) 12:00-13:00
2. 場 所 東海大学 湘南校舎 G会場(16号館 16-207教室)
3. 議 事
  - (1) 16年度活動報告
    - 1.1 16年度決算報告(中島委員)
      - ・ H16年度の実績について説明あり。日韓炉物理国際会議事業など、行われなかった事業もあり、支出が少なかった。夏期セミナーはほぼ予算どおり。
    - 1.2 16年度編集活動報告(青木委員)
      - ・ H16年度は「炉物理の研究」(通称赤本)を一回発行。H17年度はJNCの羽様氏が担当の予定。
    - 1.3 16年度学術研究交流活動報告(宇根崎委員)
      - ・ H16年度は「社会とのかかわり」および「炉物理教育」に関する特別セッションを行った。「社会とのかかわり」については、次回(2005年秋の大会)で最終報告(とりまとめ)の予定。
    - 1.4 日韓協力について(島津部会長)
      - ・ 日韓合同セッションに日本から三名派遣。このための旅費などを支給した。
    - 1.5 17年度の運営委員候補の選出(島津部会長)
      - ・ 運営委員の案について説明あり。
        - 部会長：山根義宏(名大)
        - 副部会長：関本博(東工大)
        - 庶務幹事：山本章夫(名大)、小原徹(東工大)
        - 学会企画委員会担当幹事：石川眞(JNC)
        - 学会編集委員会担当幹事：中島健(京大炉)
        - 学会炉物理委員会担当幹事：岩村公道(原研)
        - HP担当幹事：外池幸太郎(原研)、須山賢也(原研)、奥村啓介(原研)
        - 財務小委員会担当幹事：山本俊弘(原研)、小坂進矢(テプシス)
        - 編集小委員会担当幹事：羽間平(JNC)、吉岡研一(東芝)
        - セミナー小委員会担当幹事：関本博(東工大)、小原徹(東工大)
        - 学術交流小委員会担当幹事：松本英樹(三菱重工)、山本敏久(阪大)
        - 学生・若手小委員会担当幹事：伊藤佳央(CTI)、横山賢治(JNC)

1.6 その他

1.6.1 炉物理部会表彰制度について(島津部会長)

- ・本件については、炉物理部会としてまだ結論を出していない。
- ・部会として、若手をencourageする方向で進めるべきではないかとの意見があった。

1.6.2 フェロー会員推薦について(島津部会長)

- ・炉物理部会からは推薦なしとの説明があった。

1.6.3 部会報アンケートの結果について(中島委員)

- ・前回の部会報のアンケートによると、会報の電子化については、賛成45反対1で賛成が多い。配布方法についてはメールがよい9、HP閲覧33という結果。なお、ネットにアクセスできない部会員に対する配慮が必要、長期的な保存は問題ないかなどの意見あり。
- ・特に印刷物を望む部会員がどの程度いるか、調査を行うこととなった。

(2) 企画委員会報告 (石川委員)

- ・次回から学会の予稿集はCD-ROMの配布のみとなる。
- ・専門分野の分類(301, 302など)が現状の研究の実態と合わなくなっていることから、この分類の変更について検討中。
- ・日韓の交流セッションについては、部会の持ち回りで主担当を決めることを検討している。主担当の部会には100万円程度の補助が出る。持ち回りで行う場合、5年に1回程度主担当が回ってくるようになる。
- ・次回の企画セッションの締め切りは5月10日。「社会とのかかわり」の最終報告を行う予定なので、担当者は準備をお願いしたい。
- ・企画委員、プログラム編成委員の変更あり。(企画委員 東北大 岩崎先生、プログラム編成委員 北大 辻先生、阪大 北田先生)

(3) 編集委員会報告 (中島委員)

- ・学会誌に国際会議のpaperを掲載する“supplement”の扱いをどうするか議論あり。インパクトファクターをあげるためにはsupplementを積極的に推進することとしたいが、赤字にならないように注意する必要がある。
- ・その他、投稿規程の見直し、投稿規定の英訳などが進行中。

(4) 17年度の活動について (山根次期部会長)

4.1 17年度活動案概要 (山根次期部会長)

- ・H16年度と同様の活動を行う予定。

4.2 17年度予算案 (山本(俊)委員)

- ・日韓セミナーなどの活動を継続しようとする、定常的に支出が収入を上回る事となる。つまり、慢性的な赤字体質となってしまう。前から議論されているが、定常的な財源が必要である。

4.3 17年度炉物理夏期セミナー準備状況 (関本次期委員)

- ・日光で開催予定。
- ・最新の炉物理講義をメインテーマに据えて行う予定。講演は大学の教員に分担してもらおうを考えている。

4.4 17年度部会報編集活動案 (羽様委員)

- ・JJ統合関連の記事などを載せる予定。

4.5 17年度学術研究交流活動案 (松本委員)

- ・「核データ・炉物理研究と社会の係わり」について、秋の学会で最終報告の予定。
- ・何らかのアクションプランを策定したいと考えている。

4.6 その他

- ・なし

(5) 部会懇親会 (伊藤委員)

- ・3月30日18:30から東海大学駅前で行う予定。

(6) その他

- ・8月に独・カールスルーエで開催されるFrederic Joliot & Otto Hahn Summer School on Nuclear Reactorの案内があった (宇根崎氏より)。

## 第24回炉物理部会総会の報告

1. 日時 2005年9月14日(水) 12:00-13:00
2. 場所 八戸工業大学 教養棟 講義室 G201 (学会E会場)
3. 議事

### (1) 報告事項

#### 1.1 企画委員会 (石川委員)

- ・7月1日より、旧企画委員会が改組され、企画委員会と部会等運営委員会が発足したことが報告された。17年度部会等運営委員として青木繁明氏を推薦、承認された。

#### 1.2 部会等運営委員会 (青木委員、山根部会長)

- ・学会のプログラム編成、日韓サマースクール等に関して活動していることが報告された (詳細はメールにて報告済みである)。

#### 1.3 編集委員会 (中島委員)

- ・以下の報告がなされた。
  - (1) 分類番号が変わり、わかりやすくなった。
  - (2) 最近、投稿数が増えている。また、特集号の企画も増えている。
  - (3) 査読システムの電子化が進行中である。
  - (4) 学会誌の記事について、提案を募集している。
- ・学会編集委員会と部会の窓口を努める「部会担当編集委員」には、編集委員のうち3年目の委員で充てることを確認した。

#### 1.4 炉物理委員会 (岡嶋委員)

- ・炉物理研究会WPの活動について、報告があった。

### (2) 17年度 部会活動中間報告

#### 2.1 拡大幹事会 (山根部会長)

- ・次回の炉物理夏期セミナーの幹事は京大炉に決定。京大炉の代谷教授より、テーマ提案の募集していること、開催場所は淡路島、倉敷、敦賀を検討中であること、開催時期はお盆前ころを考えていることが報告された。
- ・プログラム編成委員を増員する必要性が生じたので、松本英樹氏に要請したことが報告された。

#### 2.2 財務小委員会 (中島前委員)

- ・予算収支について中間報告がなされた (資料配付)。

#### 2.3 編集小委員会 (吉岡委員)

- ・炉物理夏期セミナーの報告を準備中であることが報告された。

#### 2.4 セミナー小委員会 (小原委員)

- ・2005年8月9日～8月11日に、栃木県日光市の「ホテル清晃苑」で行われた第37回炉物理夏期セミナーの開催報告と、その収支決算報告がなされた (資料配付)。出席者は52名であった。

#### 2.5 学術交流小委員会 (深堀委員)

- ・「核データ・炉物理研究と社会の係わり」について、委員会設立のための準備委員会 (石川委員と深堀委員) が設立されたことが報告された。
- ・日韓夏期セミナーを80名規模 (日韓それぞれ40程度) で開催の予定であることが報告された。場所は大田 (テジョン) の予定である。

#### 2.6 学生・若手小委員会 (木村委員)

- ・9月14日の19時より、居酒屋「呑気家」にて、懇親会が開催されることが通知された。
- ・炉物理夏期セミナーにおける若手発表会で、学生3名の発表があったことが報告された。

#### 2.7 HP担当幹事 (奥村委員)

- ・JAERIとJNCの統合に伴い、部会ホームページのアドレスは変更になるが、学会ホームページからはリンクされることが報告された。
- ・JAERIとJNCの統合等により、メールアドレスが変更となった部会員は、学会事務局にアドレスの変更を報告すると、部会のメーリングリストが更新される。

### (3) 審議事項

#### 3.1 部会等運営委員会の新設に伴う規約の改正

- ・規約の改正：部会等運営委員会の新設に伴い、字句が変更された。
- ・内規の改正：部会等運営委員会の新設に伴い、部会選出委員の任期について以下のように変更された。
  - (1) 炉物理部会の「部会等運営委員会」担当委員は、任期2年とする。
  - (2) 2年目の委員を生とし、1年目の委員を副とする。
  - (3) 正委員は、部会等運営委員会に出席する。

### 編集後記

平成 17 年度は、原研とサイクル機構の統合がありました。編集者も統合機関に属する一人ですが、内部にいても他の部署のことはよく知らないのが実情であり、編集委員という立場を利用して主な炉物理関係部署の紹介をさせていただきました。統合で多忙の中、急なお願いに応えて頂いた皆様ありがとうございました。この場を借りてお礼を申し上げます。

(編集小委員会：羽様 平)